



平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.11 —

平成30年6月18日発行

地域の皆さんと共に…住民運動会開催



6月10日（日）、白岩小学校運動会を兼ねた白岩地区住民運動会が行われました。運動会には絶好の天気のもと、子どもたちは、一人の欠席者もなく全員元気に活動しました。6年生が中心となって準備を進めてきた組ごとの応援も素晴らしく、地域の皆さんに元気をプレゼントできたようです。



今回の運動会に関係する写真の中でベストショットは右上の写真です。6月2日（土）、朝6時ごろのグラウンドの様子です。多くの地域の方々がグラウンドを整備してくださっていました。運動会当日、思う存分楽しく活動できたのも、こうした地域の方々のおかげであることを忘れず、これからの学校生活もがんばっていきたいと思います。



ご家庭からのメッセージ ～運動会編～

- 白岩小学校には、孫たちが三人もお世話になっております。先日の運動会は、どの子も一生懸命競技に参加していて、とても楽しい一日でした。そして、毎年特に楽しみにしているのが色別の応援合戦です。「みんなで曲を選んで、振り付けをしてがんばったよ！」と6年生の一番上の孫が教えてくれました。6年生が最後の運動会。下級生を思いやり、皆で協力して立派な応援合戦をしていた姿とその成長に、ババは涙が 出てしまいました。（2年・4年・6年）
- 運動会大変お世話になりました。下の子どもにとっては、学校に入ってから初の晴れの日（？）の運動会で、張り切って頑張っている姿がみることで嬉しかったです。ありがとうございました。（2年・4年）
- 運動会お疲れ様でした。応援練習など間違えないように何度も練習していた子どもの姿に、今年はお天気がよく運動会をさせてあげられたことがとても嬉しかったです。（2年・4年）
- 運動会お疲れ様でした。去年からの成長が感じられ、立派なお兄さんへの一步をみることができました。ありがとうございました。（2年）

学校報への掲載についてご了承いただきありがとうございました。今後ともご協力よろしくをお願いします。

国際教養大学の学生さんたちがみた 白岩地区住民運動会と白岩小の子どもたち

運動会当日、国際教養大学1年生4名が見学に来てくれました。急ぎよ、英語のアナウンスをしてくれるなど運動会を盛り上げてくれた彼らに運動会を見た感想を寄稿してくれないかお願いしたところ、快く引き受け、先日メールを送ってくれました。メール文をそのまま紹介します。



先日白岩地区の運動会にお招きいただいた、国際教養大学北東アジア学生ラウンドテーブル1年の松本美香と申します。全員分の感想をとりまとめましたので、ご連絡させていただきました。

- 貴重な体験をありがとうございました。私の故郷、大阪とは違い、大人の方々も参加という新しい運動会を体験させていただきました！みなさん快く迎え入れてくださり、とても参加しやすく、楽しい時間を過ごすことができました！またの機会を楽しみにしています。よろしくをお願いします！（大阪府・T.さん）
- 久しぶりに地域の運動会に参加して楽しかったです。競技を見て応援する雰囲気から地域ならではの人の温かさを感じました。また次の機会にぜひ参加したいと思います。ありがとうございました。（秋田県・T.さん）
- 初めて白岩地区にお邪魔した私たちでしたが、地域の皆さんが温かく迎え入れてくれたおかげでとても楽しい時間を過ごす事が出来ました。私たちが大学で学んでいることを、秋田の地域に還元する活動もしていきたいと思っているので、機会があればまた行事などに参加させていただきたいと思っています。本当にありがとうございました！（北海道・Y.さん）
- 大人と子供が力を合わせて運動会に取り組む姿に元気をもらい、白岩地区の皆さんの温かさを感じた一日でした。初めてお会いしたにも関わらず歓迎してくださって嬉しかったです。是非また白岩にお邪魔させてください！ありがとうございました。（千葉県・M.さん）

全員が初めての白岩地区の訪問でしたが、楽しい時間を過ごさせていただきました。特に小学校高学年のみなさんが低学年の子どもたちを牽引して応援合戦や競技に取り組む姿には感動しました。

今回は小学生のみなさんとの交流があまりできなかったのですが、是非次は白岩小学校の児童のみなさんともっと交流ができれば、と考えています！ありがとうございました。

普段、何気なく生活しているときには「当たり前」と思っていることが、本当は貴重なものだったということを教えてくれる感想だと思います。白岩小学校の子どもたちと地域の方々との関係は「当たり前」のものではなく、とても貴重で大切にしていかなければならないものだということ改めて考える機会をもらいました。

国際教養大学は、今最も社会で必要とされる力の一つである「外国語によるコミュニケーション力」を身に付ける大学です。そのような大学で学ぶ学生の方々と交流することは子どもたちにとっても大きな力になると思います。

「また、白岩地区に訪問したい」と思ってくれていることもありがたいですね。今回のことを縁として、今後も交流を続けていきたいと考えています。